

# 水無月 愛南文芸

## みなみうわ俳句会

信号を待つ最後尾山笑う  
 重箱に供物のゆかし彼岸寺  
 鶯の仕切りなおしの声を待つ  
 廃校のぶらんこを漕ぐ音たてて  
 春潮の岩のひだまり手をひたす  
 轉まわの競演朝のカフェオーレ  
 庭眺め一日の過ぎぬ菜種梅雨  
 春の雲明日の夢みて門出かな

小島 泰子  
 田口ひさ子  
 濱 初榮  
 木村 智子  
 若林八重子  
 中川千代子  
 宮下 峰月  
 竹村 勝利

## 御莊俳句会

ほうたるを手放し闇の匂ひけり  
 音もなく木洩日跳ねて滴れり  
 香煙の少し残れる夏座敷  
 一徹いつてでありし夫の忌百合の花  
 散る桜惜しみて集め池の面  
 夕月や三味の音さそふ小料理屋

加洲勢津子  
 尾崎 松恵  
 山本 金子  
 吉田モミエ

## 檳榔子

夫の忌の咲ききつて落つ白椿

吉田モミエ

## はじめまして。赤ちゃん。

4月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

## ご冥福をお祈りします。

4月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	享年
-----	--------	----

## 西海俳句会

今年喜寿海苔かく夢を今も見  
 春愁の舅はパラオで貝をとり  
 野菜苗子に指示をして未だ病む  
 弁当を開く春野に子等駆けて

利根早智江  
 吉田 朝子  
 吉田 笑代  
 吉田 弘定

## 新しくの葉短歌会(はこべ)

ながらへて九十三の誕生日夕餉の膳に子等とつきたり  
 軒下で羽づくろいするか羽伸ばすけはいかすかに今朝は雨降る  
 山間の棚田に二人背を丸め田をならしおり過疎の山里  
 子をふたり育てつつ教壇に立ちし日の我若かりき今日喜寿となる

市川コマエ  
 長田ハル子  
 西崎 文恵  
 前田 充



※上記情報は、広報誌掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。